

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 朝食を欠食する 子どもの減少 を目指す ・ 肥満傾向の 子どもの減少 を目指す			実績				評 価	
				・ 朝食を欠食する子ども「食生活状況等調査」 H13:11.3% H25:8.5%→H29:9.6% 1.1ポイント増 ・ 肥満傾向の子ども「肥満状況調査」 H15:16.7% H25:11.7%→H29:10.4% 1.3ポイント減 ・ 乳幼児健診や成人式等で、朝ごはん運動の推進啓発活動を実施した。				本部会議	
								事務局会議	
								b	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	朝食欠食状況の調査	食生活状況等調査 (3歳～15歳)	1回/5年	0	5年毎実施	0	5年毎実施（次回H34）	健康保険課 教育委員会
	②	肥満状況の調査	肥満状況調査 (3歳～15歳)	1回/5年	10	5年毎実施	10	5年毎実施（次回H34）	
	③	朝ごはん運動の推進啓発活動	乳幼児健診等で実施	随時	20	57回485人	20	随時	健康保険課
			成人式などの開催時にパンフレット等を配布		0	朝ごはんのパンフレットを配布し、啓発活動をした。	0	1/3成人式、2/11実年式にて配布予定	教育委員会
	計				30		30		

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針		1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2) 家庭での食に対する理解の促進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 1日当たりの塩分摂取量の減少を目指す ・ 食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動を推進				実績			評 価
					・ 塩分摂取量「尿中塩分検査」 H15:13.2g H25:12.6g→H30:11.9g 0.7g減 ・ 食卓に増やそう野菜減らそう塩分をスローガンに、調理実習やつるりん鍋等を実施した。			本部会議
								A
								事務局会議
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度		担 当 課
				決算額(千円)	実 績 等	予算額(千円)	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	① 尿中塩分検査	総合健診時に実施	年1回	298	1回1,534人	304	1回	健康保険課
	② 健康食試食	いのちのまつりで実施	年2回	53	だしの試飲、ひじきのさら さやえ、野菜のチヂミ等 2回1,230人	60	2回	健康保険課
	③ 離乳食教室	乳児健診等で実施	月1回	60	34回199人	60	月1回	健康保険課
	④ 総合健診時の朝食提供	総合健診時に実施	年3回	54	野菜・減塩定食 3回200人	54	3回	健康保険課
	⑤ 野菜を多く使った調理実習	総合健診受診者を対象に実施	年2回	23	2回40人	42	2回	健康保険課
	⑥ 対象者別調理実習	対象者に合わせて実施	年7回	24	おやこ食育、シニアのための 料理、男性のための料理 等 7回136人	51	7回	健康保険課
	⑦ 「つるりん鍋」の試食	いのちのまつりで実施	年1回	337	野菜・減塩・米粉千人鍋 1回	437	1回	健康保険課
計				849		1,008		

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				1 ごはんを中心とした食生活の改善						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(3) 安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 食生活と栄養に関する学習 を実施 ・ 安全な食品に対する情報 を提供			実績 ・ いのちのまつり等で、食生活と栄養に関する学習会を実施した。 ・ 調理実習等で、安全な食品に対する情報を提供した。				評 価		
								本部会議		
								A		
								事務局会議		
								a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等		平成30年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等		
	①	食生活と栄養に関する学習	いのちのまつり 等で実施	年2回	12	展示、相談、チラシ配布 2回1,123人	30	2回	健康保険課	
	②	安全な食品に対する情報提供	調理実習等で実施	随時	3	野菜を多く使った調理実習、対象別調理実習等 10回215人	30	随時	健康保険課	
	計				15		60			

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針		2 早寝、早起き運動の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)規則正しい生活習慣の促進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・適量の飲酒 ・年齢や健康状態に応じた運動習慣を目指す ・喫煙者の減少を目指す ・1年に1回は健康診査の受診を目指す ・十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す ※純アルコール量g＝飲酒量ml×度数%×比重0.8			実 績		評 価	
						本部会議	
						A	
						事務局会議	
実 施 計 画	事 務 事 業 名	事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度	
				決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等
	① 健康診査	総合健診等を実施	年28回	42,264	28回3,725人	50,760	27回
	② 健診受診勧奨	電話、訪問、通知等により実施	随時	34	433件	35	随時
	③ 健診結果説明会	健診結果の説明と保健指導を実施	年19回	120	19回1,064人	120	18回
	④ がん検診精密検査料自己負担額補助金	各種がん検診要精密検査料の一部を補助 (限度額8,000円)	随時	852	270人	1,512	随時
	⑤ 生活習慣病予防学習会	総合健診、健康体操教室等で実施	随時	24	83回3,951人	60	随時
	⑥ 地域体験活動事業	小中学生を対象に社会教育施設（屋外）等で宿泊研修を開催。体験学習を実施。	年1回実施	125	9/29～9/30、岩木スポーツセンター（参加者29人）で開催。宿泊研修で体験学習を実施。	173	8/6～8/7鶴田町歴史文化伝承館屋外で（参加者31人）で開催。富士見湖パーク及び海洋センター艇庫で体験学習を実施した。
	新⑦ 鶴の架け橋交流事業「さつま&つるた・にぎりまんま塾」	鹿児島県さつま町で開催。宿泊研修で体験学習を実施。	3年に1回実施し、翌年は受け入れ事業として当町で実施。	0	－	3,448	8/17～8/20小学生9人、中学生10人、高校生2人の児童生徒21名の参加予定。（引率指導員9名）
	⑧ 朝の10分間読書	町内全小中学校で実施	毎日実施	1,875	毎日	1,875	毎日
	⑨ 鶴田町学校保健会講習会	保健に関する講習会 小中学校教職員対象	年4回実施	0	調査活動（町内小・中学校かぜ状況調査）12～3月実施 養護教諭会 4回開催 各種研究大会への派遣（北五学校保健会、西北五合同学校保健研究大会）	0	養護教諭会 6/19・7/25開催
	計			45,294		57,983	

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			2 早寝、早起き運動の推進								
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(2) 就寝及び起床の標準時間に関する事項								
ガ イ ド ラ イ ン	・ 幼児 起床は6時30分まで、就寝は21時までを目指す ・ 小学校低学年 起床は6時30分まで、就寝は21時までを目指す ・ 小学校高学年 起床は6時30分まで、就寝は22時までを目指す ・ 中学校 起床は6時30分まで、就寝は23時までを目指す			実績				評 価			
				・ 子どもの起床と就寝「食生活状況等調査」				本部会議			
				幼児 起床6時30分まで H25:34.2%→H29:32.9% 1.3減 就寝21時まで H25:11.7%→H29:16.7% 5.0増				B			
				小学校低学年 起床6時30分まで H25:65.5%→H29:59.7% 5.8減 就寝21時まで H25:13.4%→H29:12.9% 0.5減							
				小学校高学年 起床6時30分まで H25:60.4%→H29:63.5% 3.1増 就寝22時まで H25:53.5%→H29:56.3% 2.8増				b			
中学校 起床6時30分まで H25:32.5%→H29:36.5% 4.0増 就寝23時まで H25:46.0%→H29:48.1% 2.1増											
			・ 乳幼児健診や小中学校等で、早寝早起き運動推進啓発活動を実施した。								
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等		平成30年度		令和元年度		担 当 課	
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等			
	①	起床、就寝時間の調査	食生活状況等調査 (3歳～15歳)	1回/5年		0	5年毎実施		0	5年毎実施（次回H34）	健康保険課 教育委員会
	②	適正な生活リズム定着への支援	乳幼児健診等で実施	随時		10	57回485人		10	随時	健康保険課
	③	早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年6回実施		0	ほけんだより等で年6回周知。		0	ほけんだよりで周知	教育委員会
			各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時実施		0	長期休暇前のほけんだより等で周知の他、保護者アンケート、授業等で指導した。		0	ほけんだよりで周知	
	計					10			10		

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				3 安全及び安心な農産物の供給						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(1) 農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量、希釈倍数、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する			実績				評 価		
				農薬取締法の農薬使用基準について研修会を開催し、農薬の特性、薬剤の選択、散布時期などについての周知徹底が図られた。 また、残留農薬のポジティブリスト制度について、農薬の飛散（ドリフト）防止技術の向上が図られた。				本部会議		
								A		
									事務局会議	
								a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等		平成30年度		令和元年度		担 当 課
						決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年2回開催		0	水稻現地講習会 2回 （町農業支援センター） 農薬使用現地講習会 4回（町共防連）	0	【実施済】 水稻現地講習会 1回 農薬使用現地講習会4回 【予定】 水稻現地講習会 1回	産業課
	②	ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年1回配布		206	ドリフト注意喚起チラシ 1回配布 農事普及だより 8回配布	195	【実施済】 ドリフト注意喚起チラシ 2回配布 農事普及だより 5回配布 【予定】 農事普及だより 3回配布	産業課
	計				206		195			
※ ポジティブリスト …… すべての食品について、農薬などすべての化学物質の基準を定め、超えると出荷を停止する制度。 ※ ドリフト…農薬の使用におけるドリフトとは、散布された農薬が目的外の作物に付着してしまう現象。										

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(2) 農産物の生産履歴の記帳に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・生産履歴の記帳や食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保する取り組みを支援する。 ・消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける			実績			評 価		
				各種農産物の現地講習会において、JA等が確実な生産履歴記帳の指導を行った。 G A P 認証取得のための支援策を継続したことで目標件数を達成でき、農産物の安全性と消費者への信頼性確保が図られた。			本部会議		
							A		
								事務局会議	
						a			
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	農産物の生産履歴記帳	JA等、出荷機関との連携及び指導	随時	0	各種講習会、研修会時において随時指導	0	各種講習会、研修会時において随時指導している	産業課
	②	G A P の推進	認証取得費用への一部支援等	認証取得4件	327	認証取得 グローバルG A P 4件 J G A P 1件	660	認証取得予定件数 グローバルG A P 4件 J G A P 1件	産業課
	計				327		660		
※ G A P (ギャップ) … 「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる規格。									

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針		3 安全及び安心な農産物の供給					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(3) 食品表示の適正化の推進に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 日本農林規格等に関する法律（改正ＪＡＳ法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のＪＡＳ規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し、農産物等の価値を正当に評価される活動を展開する				実績		評 価
					消費者への信頼性確保のため、ＪＡＳ法及び食品衛生法に基づく食品表示等について、研修会などをとおして理解を深めた。		本部会議
							A
							事務局会議
実 施 計 画					平成30年度		令和元年度
	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）
							計 画 ・ 進 捗 状 況 等
計	①	J A S法及び食品衛生法に基づく食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習会へ参加や実施	随時	0	産直友の会による勉強会1回開催	0
					0		【予定】産直友の会による勉強会1回
					0		

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			3 安全及び安心な農産物の供給							
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(4)環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項							
ガ イ ド ラ イ ン	・地球温暖化防止や生物多様化保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を育成する ・土づくりの 実践 、化学肥料・化学農薬の使用低減を 推奨 し、持続性の高い農業生産方式の導入を推進する			実績				評 価		
				環境に優しい営農活動に取り組む農業者に対し、補助事業の活用や制度の周知等の支援を行った。 稲わらを有効活用する取組として結束わらの稲わらふりーでんやロールわらのフリーマーケットを実施した。				本部会議		
								A		
										事務局会議
								a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等		平成30年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等		
	①	環境保全型農業推進事業	地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援	目標件数：1 法人		941	事業実施者 2 法人	1,100	事業実施予定者 1 法人	産業課
	②	日本一健康な土づくり実践事業	土づくり等の環境保全農業活動の促進	チラシ配布：年1回		0	稲わら有効活用啓発チラシ配布 1 回 【参考】 稲わらふりーでん実施面積 1.5ha ロールわらフリーマーケット販売重量 25 t	0	【予定】 稲わら有効活用啓発チラシ 1 回配布	産業課
	計					941		1,100		

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				3 安全及び安心な農産物の供給						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(5) 食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 消費者の求める安全で安心な農産物の供給に当たり、科学的根拠に基づいた安全性を保証する情報を積極的に発信し、消費者の安心と信頼を確保する			実績				評 価		
				町および県内で実施した農林水産物に係る放射性物質測定結果についての情報を提供した。				本部会議		
								A		
									事務局会議	
									a	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度			担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等		
	①	食品の安全及び安心に係る 情報提供	チラシやパンフレットなど による農産物の安全・安心 の周知活動	随時	0	周知チラシを10月に配布	0	【予定】 周知チラシを10月配布	産業課	
	新 ②	食品の安全及び安心に係る 信頼性確保	県で実施している放射能検査 の手續代行に関するチラシ 配布	年1回	-	-	0	【予定】 周知チラシを9月に配布	産業課	
	計				0		0			

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針			4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目			(1)地産地消の推進体制の整備に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る ・ 地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る			実績				評 価	
				スチューベン、シャインマスカット、アスパラガス等の生産拡大・定着とイベントを通して地場産品の消費拡大が図られた。				本部会議	
								A	
									事務局会議
								a	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	地場産品の生産振興の推進	町振興作物の拡大と定着を図る	補助対象面積50a以上	466	果樹 50a 野菜 63a 米粉用米 20a	1,554	【予定面積】 果樹 87a 野菜 15a 米粉用米 20a	産業課
	②	地場産品の消費拡大	各種イベントを通して消費拡大を図る	年2回	0	スチューベン祭りや町民文化祭を通して地場産品の消費拡大を実施	0	スチューベン祭りや町民文化祭を通して地場産品の消費拡大を実施する	産業課
	計				466		1,554		

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(2)町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・ 農家やＪＡ等が提供・販売可能な地場産品を把握し、学校給食をはじめ、各種イベントや料理教室などで優先的に使用し、地域内消費の拡大に努める			実績				評 価	
				当町産つがるロマン及び大豆・小麦加工品について、あるじゃ店頭販売のほか学校給食用などで消費が図られた。				本部会議	
								A	
									事務局会議
								a	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成３０年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	当町産米の積極的活用と消費拡大	学校給食での活用及び、あるじゃ加工施設で加工・商品化し消費拡大を図る	加工量：15,000kg	0	学校給食や米粉等に当町産つがるロマンを使用 加工量 11,457kg	0	学校給食や米粉等に当町産つがるロマンを使用	産業課
	②	転作作物として生産された大豆・小麦加工品の消費拡大	当町産の大豆・小麦をあるじゃ加工施設で商品化し消費拡大を図る	大豆7,500kgを豆腐、テンペ等に加工・販売	0	学校給食、豆腐、味噌、ソフト・シークに加工販売 加工量 5,480kg	0	学校給食、豆腐、味噌、ソフト・シークに加工販売	産業課
				小麦2,340kgをあるじゃ加工施設で加工・販売 うち学校給食：1,200kg	0	学校給食等で使用 加工量 1,145kg	0	学校給食で使用	産業課
	③	各料理教室の開催	町における料理教室	6月～12月まで公民館調理室にて料理教室を12回開催。	112	7月～12月まで公民館調理室にて料理教室を12回開催。延べ参加人数149人	112	現在まで受講生14名の申込み。7/25（3回目）終了時点、延べ31人の参加。	教育委員会
				年1回開催 （農家女性いきいき講座）	0	農家女性いきいき講座 1回開催。32人参加	35	農家女性いきいき講座 1回開催予定（12～2月頃）	産業課
	計				112		147		

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(3) 地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す			実績			評 価			
				平成３０年度学校給食に使用した地場産品は、米・野菜・果実等２０品目で、鶴田産１５．９％(H29:14.9％)、青森県産４８．３％(H29:50.2％)を使用しており、食材全体使用量の６４．２％(H29:65.1％)を占めている。前年とほぼ同じ使用量であるが、大根は地物が不作であったのが原因と白菜は虫の発生で使用料が減っている。また、拡幅工事で一時供給を中断していた道の駅「鶴の里あるじゃ」も５月から稼働したため、地場産品の使用割合で１％向上している。 地場産品の安定供給を図るため学校給食応援隊や関係機関との連携をさらに強化する。			本部会議			
							A			
							事務局会議			
						a				
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等		平成３０年度		令和元年度		担 当 課
						決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	学校給食応援隊の活動推進	地元農家から給食の食材として地場産品を提供してもらう制度の確立	じゃがいも、玉ねぎ等 4,000kg		40	野菜等使用量 3,720kg じゃがいも 411kg 玉ねぎ 1,477kg 長ねぎ 563kg 大根 145kg にんじん 662kg 長なす 4kg パプリカ 17kg 白菜 20kg ミニトマト 129kg キャベツ 70kg ピーマン 11kg みそ 166kg アスパラ 20kg さくらんぼ 25kg	60	野菜等目標使用量 4,000kg じゃがいも・玉ねぎ・長ねぎ・大根・にんじん・長なす・パプリカ・白菜・ミニトマト・キャベツ・ピーマン・みそ・アスパラ・さくらんぼ等	教育委員会 （給食センター）
	②	学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	米は「つがるロマン」を使用 11月からりんごを提供		0	米は、鶴田産「つがるロマン」を提供 9,180kg 大豆 168kg 豆腐 1,320kg 大豆加工品 200kg りんご（無償） 2,000kg ぶどう（無償） 120kg	0	４月～７月委託炊飯であったが８月～炊飯が可能となる。米は鶴田産つがるロマンを提供	教育委員会 （給食センター）
	計				40		60			

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進					
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項					
ガ イ ド ラ イ ン	・農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品のPRと販路拡大を推進する				実績			評 価	
					町内外イベントにおいて、地場産品を賞品や材料として使用するとともに、特産品販売やPR活動による販路拡大と情報発信が図られた。			本部会議	
								A	
									事務局会議
						a			
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	町内イベントでの地場産品の紹介	鶴の舞橋桜まつり	年1回開催	57	鶴の舞橋カラオケ大会 賞品	53	鶴の舞橋カラオケ大会 賞品	企画観光課
			町民文化祭の賞品に活用	年1回開催	45	町民文化祭スタンプラリーをあるじゃの特産品を賞品で活用。	48	あるじゃの特産品を賞品を購入予定。	教育委員会
			フッドリバー市民と親しくする会、新年を祝う会等で紹介	年3回実施	286	年3回実施 ・フッドリバー市民と親しくする会（会予算） ・新年を祝う会 ・イングリッシュデイ	286	年3回実施予定 ・フッドリバー市民と親しくする会（会予算） ・新年を祝う会 ・イングリッシュデイ	企画観光課
	②	町外イベントでの地場産品の紹介	県外物産展で紹介・販売	年1回参加	362	年2回実施 ・青森人の祭典 ・さつまフェスタ	369	年2回実施予定	産業課
			ふるさと鶴田会総会・県庁鶴田会で紹介	年2回実施	178	年2回実施 ・ふるさと鶴田会総会 ・県庁鶴田会	182	年2回実施 ・ふるさと鶴田会総会 ・県庁鶴田会	企画観光課
	③	地場産品の販路拡大事業	スチューベンぶどう 販路拡大トップセールス 及び試食宣伝活動	年3回開催	629	年4回実施 トップセールス 2回 ・東京都（2か所） 青森県フェア 1回 ・名古屋 副知事表敬訪問 1回	2,143	年3回実施予定	産業課
			観光・物産資源 PRキャンペーン	年1回参加	60	ツルタの宴 販売、試飲、試食	200	町イチ村イチ、ハイウェイフェスタとうほく 試飲、試食	企画観光課
	計				1,617		3,281		

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針		5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・食に関する体験学習を実施			実績			評 価	
				・子どもと一緒にクッキングでは、食生活改善推進員の協力のもと、朝ごは んづくりの体験をすることで、その大切さを実感できる機会となっている。 ・教育ファームでは、地域の農家の方々のご協力のもと、小学校において米づくり、 りんごづくり、野菜づくりなどの実際の農作業を経験し、収穫の喜びとともに食への 知識向上を図った。			本部会議	
							事務局会議	
							a	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度	
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等
	①	子どもと一緒にクッキング	各小学校を対象に、朝ごは んづくりの体験教室を実施	年30回	208	33回621人	224	30回
	②	朝ごはん運動推進体験学習 の実施(教育ファームの推 進)	農業者の指導を受けながら 農作業を体験	米づくり(2校) りんごづくり(3校) 野菜づくり(5校)	0	米づくり(1校) りんごづくり(3校) 野菜づくり(5校)	0	昨年度と同様、米づくり(1 校)、りんごづくり(3校)、 野菜づくり(5校)を実施。
計					208		224	

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				5 食育推進の強化										
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項										
ガ イ ド ラ イ ン	・ 1年に1回は学校保健会などが中心となり食育学習等の実施を目指す				実績				評 価					
					成長期における睡眠の重要性ならびにしっかりと朝食をとることの大切さの理解を深めることを図った。				本部会議					
									A					
									事務局会議					
								a						
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容		実 施 目 標 等		平成30年度		令和元年度		担 当 課			
							決算額（千円）	実 績 等		予算額（千円）		計 画 ・ 進 捗 状 況 等		
	①	食育学習についての研修・研究活動		小中学校・保育所等の情報交換及び推進のための方策研究		年3回実施		0	11月6日 北五学校保健会「くらしの健康研究発表会」 菖蒲川小学校発表 その他会議 3回		0	11月6日 北五学校保健会 水元中央小学校発表 その他研修会 4回		教育委員会
	計						0			0				

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(3) 学校給食を通じた食育の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す			実績				評 価		
				・ 郷土食と行事食を合わせて 1 3 回実施。学校給食応援隊と連携し、地場産品を使用している。 ・ 地元食材を活用した食に関する指導の実施。 ・ 郷土料理や行事食を取り入れた献立の実施。 4 月－入学進級お祝い(お祝いいちごゼリー) 5 月－こどもの日(こどもの日ゼリー) 6 月－ふるさと産品の日(6月4日から8日) 青森県、鶴田町の食材を多く使用 7 月－七夕(七夕ゼリー) 8 月－夏野菜カレー(なす、パプリカ、いんげん等) 9 月－十五夜(お月見ゼリー) 10 月－ハロウィン(かぼちゃ) 11 月－ふるさと産品の日(スチューベンぶどう) 12 月－クリスマス(クリスマスデザート) 1 月－正月(けの汁、子和え、たら汁) 2 月－節分(福豆) 3 月－雛祭り(雛あられ、すだちゼリー) 1 1 月～2 月－鶴田産のりんごを毎食提供 ・ 1 1 月に富士見小学校において生徒と教育長、次長、校長、学校給食応援隊、給食センター調理員が「ふるさと産品の日 交流給食会」を開催。 ・ 1 1 月に青森県学校給食会主催の学校給食献立コンクールに鶴田小 6 年生 2 チームが参加し、「アレンジ郷土料理」「青森特産物を使った料理」という題材で 2 チームとも優良賞を受賞するなど食育の成果が伺えた。				本部会議		
								事務局会議		
								a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等		平成 3 0 年度		令和元年度		担 当 課
						決算額(千円)	実 績 等	予算額(千円)	計 画 ・ 進 捗 状 況 等	
	①	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年 1 2 回実施		0	郷土食と行事食を合わせて13回実施。 ふるさと産品の日 交流給食会(H30. 11. 13富士見小)の実施。	0	郷土食と行事食を12回 ふるさと産品の日 交流給食会開催	教育委員会
	②	食に関する指導	各小中学校を対象に栄養教諭が食育の授業を実施	年 3 0 回実施		0	小中学校 合計 61回実施	0	小中合わせて30回	教育委員会
	③	学校給食への米粉パン供給	各小中学校を対象	月 2 回実施		0	月2回 小中学校へ提供 合計16回	0	月2回 小中学校へ提供 合計24回予定	教育委員会
	④	学校給食への麺の供給	各小中学校を対象	月 2 回実施 (二学期から)		0		0	月2回 小中学校へ提供 合計14回予定	教育委員会
計				0			0			

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				5 食育推進の強化						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(4)国際交流による食育の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す			実績				評 価		
				フッドリバー訪問前に国際交流員が調理した外国料理を中学生大使が実際に食し、外国食文化とテーブルマナーを体験。				本部会議		
								A		
								事務局会議		
								a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等		平成30年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等		
	①	姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	52	フッドリバー訪問団員22人	52	フッドリバー訪問団員20人（7日間）	教育委員会	
	計				52		52			

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針				6 米文化の継承						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目				(1) 米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す			実績				評 価		
				町内でのイベントにおいて、消費者との交流が図られた。				本部会議		
								A		
								事務局会議		
								a		
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等		平成30年度		令和元年度		担 当 課
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等		
	①	町内のイベントで地域産農産物等の紹介	各種イベント等における特産品の情報発信活動	随時実施	402	計1回 ・ 龍巻寿司	209	町民文化祭で実施予定	産業課	
	計				402		209			

令和元年度 朝ごはん運動実績報告及び実施計画

基 本 方 針		6 米文化の継承						
ガ イ ド ラ イ ン 項 目		(2) 伝統的な米文化の継承の推進に関する事項						
ガ イ ド ラ イ ン	・ 伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す ・ 地域における伝統的な米食文化の継承を目指す			実績			評 価	
				管内小学校児童を対象とした「米づくり体験」、三世代ふれあいまつりでの「おにぎりづくり」や「もちつき」などを開催し、日本の伝統的な米文化と米を食することの重要性に関する継承の促進が図られた。			本部会議	
							A	
							事務局会議	
実 施 計 画	事 務 事 業 名		事 務 事 業 内 容	実 施 目 標 等	平成30年度		令和元年度	
					決算額（千円）	実 績 等	予算額（千円）	計 画 ・ 進 捗 状 況 等
	①	米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	米料理＝鶴田小 米づくり＝富士見小 餅つき＝梅沢小	30	11/10鶴田小三世代ふれあいまつり、11/25月くるみふれあいまつり、12/15梅沢小防犯餅つき大会。5月～10月富士見小米づくり体験。	30	11/9鶴田小三世代ふれあいまつり、11/30梅沢小防犯餅つき大会を開催予定。5月～10月まで、富士見小で米づくり体験を実施中。
	②	歴史文化の伝承事業	米料理、伝統料理の継承と古民具の展示	鶴田町歴史文化伝承館の活用	0	4月～12月まで2階展示室に、古い農具や民具を展示している。	0	4月～現在まで2階展示室にて古い農具や民具を展示中。
	計				30		30	

合 計 50,599

66,603

事業効果の判定基準について(事務局会議評価)

a	本事業は朝ごはん運動推進(各基本方針のガイドライン)に非常に効果的であった (ガイドラインに掲げる指標等が目標値を上回ったなどの場合に選択してください)
b	本事業は朝ごはん運動推進(各基本方針のガイドライン)に相当程度効果があった (目標値を上回ることにはなかったものの目標値を相当程度(7割～8割)達成した場合に選択してください)
c	本事業は朝ごはん運動推進(各基本方針のガイドライン)に効果があった (目標値を上回ることにはなかったものの事業開始前よりも改善したなどの場合に選択してください)
d	本事業は朝ごはん運動推進(各基本方針のガイドライン)に対して効果がなかった (実績値が本事業開始前の数値よりも悪化しているなどの場合に選択してください)

事業効果の判定基準(本部会議評価)

A	本事業が朝ごはん運動推進(各基本方針のガイドライン)に有効であった
B	本事業が朝ごはん運動推進(各基本方針のガイドライン)に有効とは言えなかった